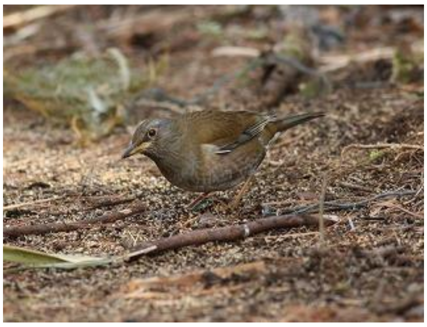
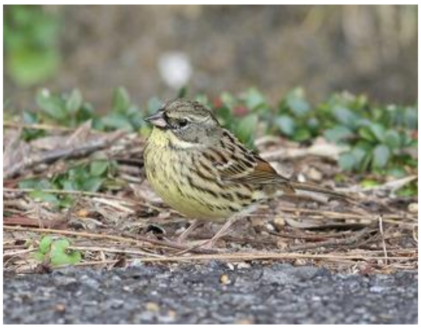
♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

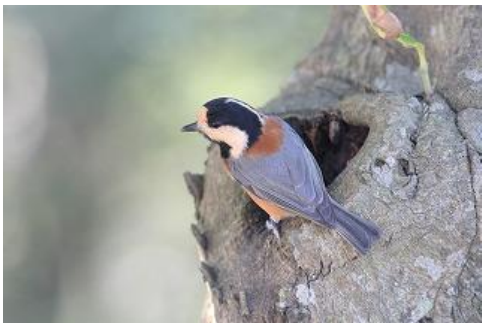
３月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



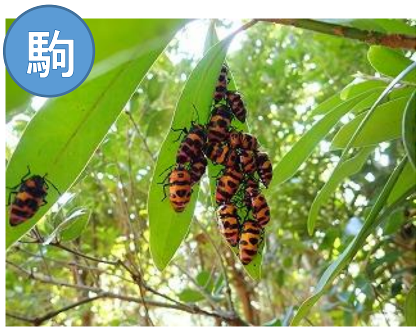
「シロハラ　ツグミ科」
冬鳥。全長 25cm。腹中央が白っぽい。「木の葉返し」の異名の通り、落葉を跳ねのけて昆虫などを採食する。



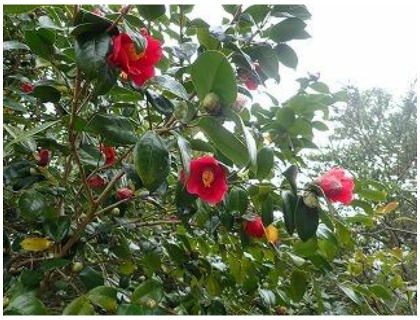
「アオジ　ホオジロ科」
留鳥。全長 16cm。スズメより少し大きい。地上を跳ね歩き昆虫類や草の種子などを採食する。



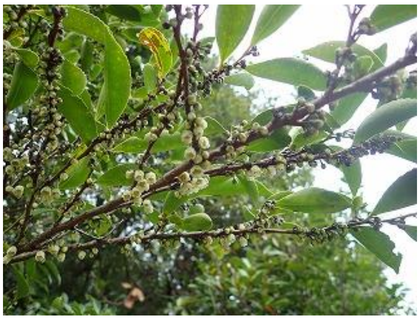
「ヤマガラ　シジュウカラ科」
留鳥。全長 14cm。「ツツピー・ツツピー」とゆっくり鳴く。雌雄同色。つがいで生活することが多い。



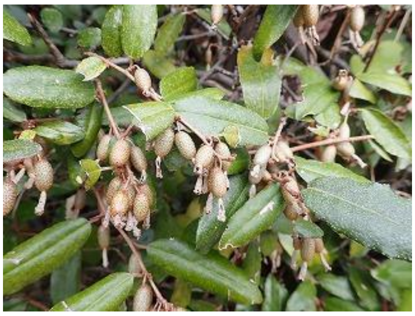
「オオキンカメムシ　キンカメムシ科」
体長 20-25cm。集団越冬することで知られる南方系の大型カメムシ。大きめの葉の裏を覗いてみよう。



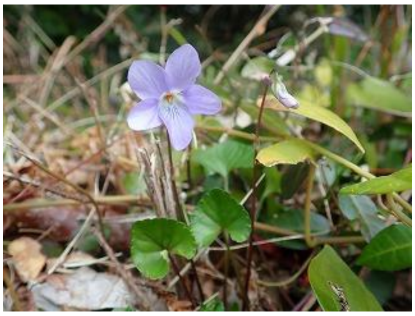
☆「ヤブツバキ　ツバキ科」☆
海岸沿いに多い常緑小高木。日本原産で園芸品種の基本種。観賞用と共に重要な油用植物でもあった。



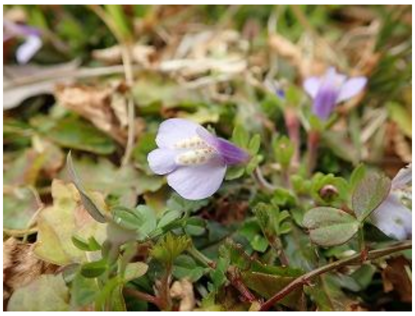
☆「ヒサカキ　モッコク科」☆
生育環境をあまり選ばない常緑小高木。この辺りではビシャコという。独特な香りを放っている。



☆「ナワシログミ　グミ科」☆
庭木としてよく植栽される常緑低木。稲の苗代を作る頃（４-５月）に果実が熟すことから名付けられた。



☆「タチツボスミレ　スミレ科」☆
全国のいたる所に生える多年草。花は薄紫色で匂わない。葉はハート形。日本を代表するスミレ。



「ムラサキサギゴケ　ゴマノハグサ科」
湿地や日当たりの良い所に生える多年草。花を白鷺、株を苔に見立ててその名がついた。

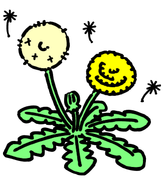
☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くことも出来ますよ♪

駒…駒ヶ崎で観察することができます。

だんだんと寒さも緩み春を感じることができますね。
３月５日には冬眠している虫たちが動き始める啓蟄（けいちつ）を迎えます。
散策して鳥や虫、植物を観察しませんか(^0^)／

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2023 年３月前半号



吉野熊野国立公園
宇久井半島

春版

＜散策時間の目安＞

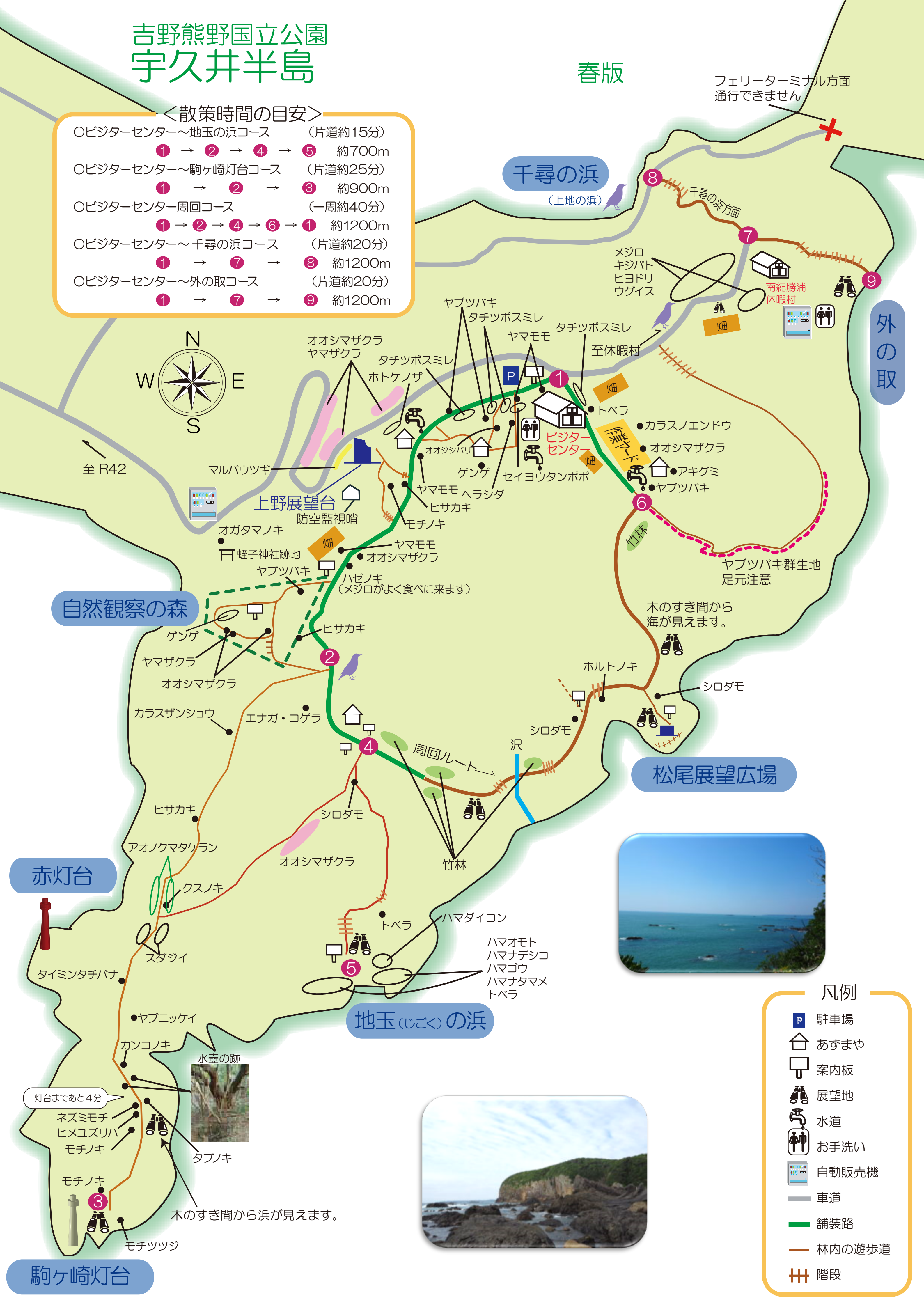
○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約15分）
① → ② → ④ → ⑤　約700m

○ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース　（片道約25分）
① → ② → ③　約900m

○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
① → ② → ④ → ⑥ → ①　約1200m

○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
① → ⑦ → ⑧　約1200m

○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
① → ⑦ → ⑨　約1200m


N
W
E
S
至 R42
フェリーターミナル方面
通行できません
千尋の浜
（上地の浜）
千尋の浜方面
メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス
南紀勝浦
休暇村
畑
外の取
至休暇村
タチツボスミレ
ヤマモモ
ヤブツバキ
タチツボスミレ
オオシマザクラ
ヤマザクラ
タチツボスミレ
ホトケノザ
P
トベラ
カラスノエンドウ
ビジター
センター
作業ヤード
オオシマザクラ
アキグミ
ヤブツバキ
オオジシバリ
ゲンゲ
セイヨウタンポポ
ヤマモモ
ヘラシダ
ヒサカキ
モチノキ
マルバウツギ
上野展望台
防空監視哨
竹林
ヤブツバキ群生地
足元注意
オガタマノキ
蛭子神社跡地
ヤマモモ
オオシマザクラ
ヤブツバキ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）
自然観察の森
木のすき間から
海が見えます。
ゲンゲ
ヤマザクラ
オオシマザクラ
ヒサカキ
ホルトノキ
シロダモ
カラスザンショウ
エナガ・コゲラ
シロダモ
松尾展望広場
周回ルート
沢
ヒサカキ
シロダモ
アオノクマタケラン
オオシマザクラ
竹林
赤灯台
クスノキ
スダジイ
トベラ
ハマダイコン
ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ
タイミンタチバナ
地玉（じごく）の浜
ヤブニッケイ
カンコノキ
水壺の跡
灯台まであと４分
ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ
タブノキ
モチノキ
木のすき間から浜が見えます。
モチツツジ
駒ヶ崎灯台
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

凡例

- P 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段